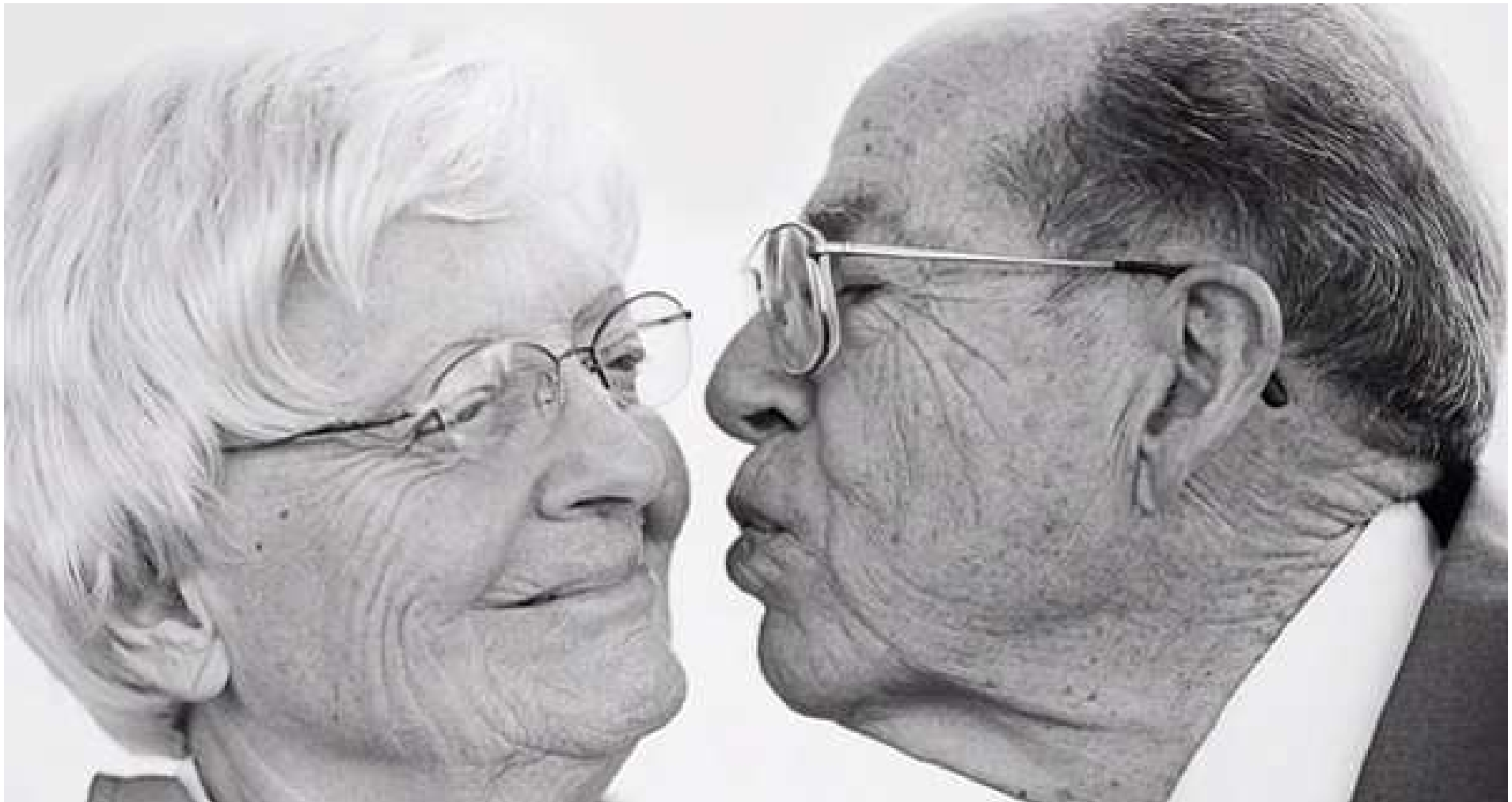


未来を形づくる5つの要因：要因3 人口構成の変化と長寿化



先進国のみならず今後は中国などの新興国でも少子高齢化を迎える。特に生産年齢人口の減少が社会に与える影響は大きい。世代ごとに異なる価値観を持っており、社会の中心を担う世代が変わることで世の中が変わっていく。寿命が長くなることで、多くの現役年齢が長くなり（60⇒65⇒70歳）、一方で介護など含め人生の晩年をどう過ごすかも課題であり社会に影響を与える。

1.Y世代の影響力が拡大する

ジェネレーションX

1965～1977年生 – 5100万人

■ 多くの母親が職場進出した
最初の世代

■ テクノロジーを信奉

■ 職場に柔軟性を求める

- Y世代の特徴（2025年には、45～60歳）
- それ以前のどの世代よりも、長い思春期を経験した世代。
- 以前の世代よりも、経済のグローバル化を明確に理解している世代。
- コスモポリタン化したライフスタイルの世代。
- 本当の意味で、世界中の人々が結びついた世代。
- バーチャルなコミュニティを舞台に活動する世代。
- 学習と成長の機会が得られることに、仕事での重きを置く世代。
- 協力的志向が高い世代（ベビーブーム世代：競争意識が高い）
- 短期志向で、プロジェクト単位で働く意識が強い世代
- （X世代：長期志向で、キャリア全体の事を考えて勤める）

ジェネレーションY

1978～2000年生 – 7600万人

■ インターネット世代

■ 最も生産性が高い一方、
最も手がかかる労働力

■ 結婚して家族を持ちたい、
職場に大きな柔軟性を求
める

2. 寿命が長くなる



3.ベビーブーム世代の一部が貧しい老後を迎える



4.国境を越えた移住が活発になる

